

2023年6月25日

## 主日礼拝

《礼拝》

礼拝讃美歌⇒302番（旧122B番）（SK姉）

『世の力強く』

聖書⇒イザヤ書12:1~6節（MM姉）

『その日には、あなたは言うであろう。「主よ、わたしはあなたに感謝します。あなたはわたしに向かって怒りを燃やされたが／その怒りを翻し、わたしを慰められたからです。見よ、わたしを救われる神。わたしは信頼して、恐れぬ。主こそわたしの力、わたしの歌／わたしの救いとなってくださった。」あなたたちは喜びのうちに／救いの泉から水を汲む。その日には、あなたたちは言うであろう。「主に感謝し、御名を呼べ。諸国の民に御業を示し／気高い御名を告げ知らせよ。主にほめ歌をうたえ。主は威厳を示された。全世界にその御業を示せ。シオンに住む者よ／叫び声をあげ、喜び歌え。イスラエルの聖なる方は／あなたたちのただ中にいます大いなる方。』

礼拝讃美歌⇒303番（旧196番曲）

『主こそわが力』

聖書⇒ヨハネによる福音書15:6, 13~15b節（ES姉）

『わたしにつながっていない人がいれば、枝のように外に投げ捨てられて枯れる。そして、集められ、火に投げ入れられて焼かれてしまう。』

友のために自分の命を捨てること、これ以上に大きな愛はない。わたしの命じることを行うならば、あなたがたはわたしの友である。もはや、わたしはあなたがたを僕とは呼ばない。僕は主人が何をしているか知らないからである。』

（祈り）

礼拝讃美歌⇒216番（SK兄）

『キリストには代えられません』

聖書⇒ルカによる福音書 10:22~24 節 (SK 兄)

『すべてのことは、父からわたしに任せられています。父のほかに、子がどういう者であるかを知る者はなく、父がどういう方であるかを知る者は、子と、子が示そうと思う者のほかには、だれもいません。』それから、イエスは弟子たちの方を振り向いて、彼らだけに言われた。「あなたがたのしているものを見る目は幸いだ。言うておくが、多くの預言者や王たちは、あなたがたが見ているものを見たかったが、見ることができず、あなたがたが聞いているものを聞きたかったが、聞けなかったのである。』』

(祈り)

《パン裂き》

聖書⇒ヨハネによる福音書 6:53~58 節 (TM 兄)

『イエスは言われた。「はっきり言うておく。人の子の肉を食べ、その血を飲まなければ、あなたたちの内に命はない。わたしの肉を食べ、わたしの血を飲む者は、永遠の命を得、わたしはその人を終わりの日に復活させる。わたしの肉はまことの食べ物、わたしの血はまことの飲み物だからである。わたしの肉を食べ、わたしの血を飲む者は、いつもわたしの内におり、わたしもまたいつもその人の内にいる。生きておられる父がわたしをお遣わしになり、またわたしが父によって生きるように、わたしを食べる者もわたしによって生きる。これは天から降って来たパンである。先祖が食べたのに死んでしまったようなものとは違う。このパンを食べる者は永遠に生きる。』』

(式)

礼拝讃美歌⇒355 番 (旧 304 番)

『主はいのちを』

《建徳》

聖書⇒ローマの信徒への手紙 8:18 節 (TM 兄)

『現在の苦しみは、将来わたしたちに現されるはずの栄光に比べると、取るに足りないと思えます。』

聖書⇒マタイによる福音書 16:26a 節

『人は、たとえ全世界を手に入れても、自分の命を失ったら、何の得があろうか。』

聖書⇒ヨハネの黙示録 21:1、3~4 節

『わたしはまた、新しい天と新しい地を見た。最初の天と最初の地は去って行き、もはや海もなくなった。

そのとき、わたしは玉座から語りかける大きな声を聞いた。「見よ、神の幕屋が人の間にあって、神が人と共に住み、人は神の民となる。神は自ら人と共にいて、その神となり、彼らの目の涙をことごとくぬぐい取ってください。もはや死はなく、もはや悲しみも嘆きも労苦もない。最初のものは過ぎ去ったからである。』

聖書⇒イザヤ書 2:1~5 節 (KH 兄)

『アモツの子イザヤが、ユダとエルサレムについて幻に見たこと。

終わりの日に／主の神殿の山は、山々の頭として堅く立ち／どの峰よりも高くそびえる。

国々はこぞって大河のようにそこに向かい

多くの民が来て言う。「主の山に登り、ヤコブの神の家に行こう。

主はわたしたちに道を示される。わたしたちはその道を歩もう」と。

主の教えはシオンから／御言葉はエルサレムから出る。

主は国々の争いを裁き、多くの民を戒められる。

彼らは剣を打ち直して鋤とし／槍を打ち直して鎌とする。

国は国に向かって剣を上げず／もはや戦うことを学ばない。

ヤコブの家よ、主の光の中を歩もう。』

聖書⇒ヤコブの手紙 4:1 節

『何が原因で、あなたがたの間に戦いや争いが起こるのですか。あなたがた自身の内部で争い合う欲望が、その原因ではありませんか。』

聖書⇒ローマの信徒への手紙 7:18~20 節

『わたしは、自分の内には、つまりわたしの肉には、善が住んでいないことを知っています。善をなそうという意志はありますが、それを実行できないからです。わたしは自分の望む善は行わず、望まない悪を行っている。もし、わたしが望まないことをしているとすれば、それをしているのは、もはやわたしではなく、わたしの中に住んでいる罪なのです。』

礼拝讃美歌⇒208 番 (旧 301 番)

『汚れと争いは』

《建徳要旨》